

苦しみを和らげる認知症ケア研修 A

「ごまかし/かわし/すかし/うそをつき/スルーする」これらはすべて、例えば突然「家に帰る！」と立ち歩く認知症の人の「症状」と格闘する現場職員の**苦しみの**対応なのかもしれない。たとえそれでこの場は収まったとしても、これは再び…延々と続く「症状」が**現場スタッフの苦しみ**(疲弊、無意味・空虚)となる。しかしこれら徘徊、物盗られ妄想、帰宅願望、介護拒否、せん妄、抑うつ等の多くは、認知症の人の“思い出せない苦しみ”の現れなのです。その**認知症の人の苦しみを和らげる**ことが、対応困難な症状を落ち着かせ、問題行動も収まることになる。これが“**苦しみを和らげる認知症ケア**”です。そこから見えてくるものは、ごまかしのない真の認知症ケアへの道です。もう、ごまかし、うそをつく必要はありません。苦しみのない真の認知症ケアへの道を探求しましょう。この研修は認知症ケアに悩む援助職にとって、援助の基本的概念を学び、明日からの実践に力が得られる3日間です。**苦しみを和らげる認知症ケア**にぜひご参加ください。

内 容 (本ワークショップは4時間×3回=12時間の演習です)

第1日研修

- 1) 主旨説明—本ワークショップの目的、方法の説明
- 2) 対人援助論—認知症の人の苦しみを和らげる援助—
- 3) 援助的コミュニケーション(傾聴)の演習

第2日研修

- 4) “苦しみを和らげる認知症ケア”の理論的解説と傾聴の要点説明
- 5) 雰囲気と関係性の研究(関係の成立・循環性・固有性から解明)
- 6) 質疑応答:各人の会話記録を比較検討する

第3日研修

- 7) “ふれる”で苦しみを和らげる
- 8) 受講者各自の臨床での“苦しみを和らげる認知症ケア”事例検討

対 象 臨床で認知症高齢者などのケアに携わる福祉・医療専門職等
感染予防の観点から、鹿児島県限定とします。

定 員 8名(最少催行人数4名)

日 時 第1日研修:2022年5月15日(日)13:00~17:30
第2日研修:2022年6月05日(日)13:00~17:30
第3日研修:2022年6月26日(日)13:00~17:30
受講には、全3日間の出席が必要です。部分参加はできません。

場 所 〒899-2526
鹿児島県伊佐市大口宮人463番地133
社会福祉法人大一会 法人事務局会議室
*但し、感染症拡大等の状況次第で、オンライン開催に変更することもあり得る
ことをご承知ください。

受講料 28,000円(税込 資料代、会話記録とレポート添削費用を含む)

講 師 坂井明弘(NPO法人対人援助・スピリチュアルケア研究会理事・研修講師)

申込締切 2022年5月12日20時まで(受付は先着順とし、定員に達し次第、終了します)

申込方法と受講費のお支払いについて

- 1、ホームページより、受講申し込みフォームにご記入ください。申込書を提出後、講師の受講承認された方から先着順とさせていただきます。

※お申込みから3日以内に事務局から連絡がない場合は、フォーム受付やメールのトラブル等が考えられますので、必ず事務局までご連絡ください。
- 2、申込書には、受講動機1,400字が必要です。文字数が少ないなどで、講師から再提出を求められることがございますので、ご注意ください。
- 3、講師による受講承認後に事務局よりご連絡を差し上げますので、しばらくお待ちください。受講承認後に、受講費のお振り込みをご案内いたします。
- 4、お振り込みの期限までに受講費をお支払いいただけない場合、受講はできません。期限内のお支払いを必ずお願い申し上げます。
- 5、研修の資料や、ZOOMのURL、諸連絡などは、講師から直接メールで配信されます。お申込みのあとは、メールの受信設定をご確認の上、こまめにメールチェックをいただきますよう、お願いいたします。

- 留意事項**
- ・感染拡大の状況によって、急遽オンライン開催になる可能性もありますこと、ご承知おきください。その時には、担当講師からご連絡いたします。
 - ・申し込み在先立ち、不明な点やお困りのことがございましたら、事務局までご遠慮なくお問い合わせください。
 - ・事務局の対応時間は、月～土 10:00～17:00 となります。

NPO 法人 対人援助・スピリチュアルケア研究会
(HP : <http://www.sp-c.org>)

申込先 : 事務局 E-mail : entry@sp-c.org FAX : 099-833-3051